

# 2-10

## 感染症予防の取り組み

インフルエンザ・ノロウイルス2年間罹患ゼロ

感染症予防  
2年間ゼロ

特別養護老人ホーム 白十字ホーム

介護職 田中 基  
東村山市諏訪町2-26-1

042-392-1375  
042-392-1255

E-mail:hakujyuuji@mua.biglobe.ne.jp  
URL:http://www.hakujikai.or.jp

昭和42年開設。定員170名。短期入所併設12名+空床

所在地、東村山市。同一敷地内に病院・老健・在支・訪問看護・訪問介護・包括支援センターの事業所がある。2棟5フロアに分かれ、利用者の平均年齢86歳、平均要介護度3.8。常時分散ケアをはじめて3年。年間ボランティア5000名余。

〈取り組んだ課題〉

- 感染症発症者ゼロを達成する。
- ノロウイルス等の対策として「嘔吐・血液対応マニュアル」を作成する。
- インフルエンザ流行期を前に感染症予防に対する意識の向上。(利用者・全職員・ボランティア・ホーム来訪者含む)

〈具体的な取り組み〉

- 毎月第一月曜日に「感染症予防委員会」定例
  - ・ 4月 「嘔吐・血液対応マニュアル」を作成し介護職全員に配布。
  - ・ 6月 看護師より「1ケア1手洗い」徹底の指示あり。○157・食中毒対策に有効
  - ・ 9月 「食前の手洗い徹底週間」実施。利用者・職員の意識向上をはかる。
  - ・ 10月 インフルエンザ流行期を前に、全職員に「手洗いマニュアル」を配布。インフルエンザワクチンの全職員対象に摂取。
  - ・ 12月 風邪の流行を防ぐための取組み
    - ① 午前・午後のカテキンスプレー散布
    - ② 窓を開けての換気
    - ③ 保湿タオル設置
    - ④ 加湿器の水の補充
    - ⑤ おむつ交換車に泡石鹸設置

近隣施設にノロウイルス・疥癬が出ているとの情報で「ノロウイルス対応マニュアル」を配布。

- ・「8点セット対応袋」準備
- ・消毒剤を全て次亜塩素酸ナトリウムに換える。

- ・1月 インフルエンザ対策として保湿を高めるため「濡れバスタオル」の設置時間の強化。
- ・ カテキン撒きの徹底
- 八国苑(通所)の看護師も委員会参加となる。ディサービス利用者の感染予防もホームと連動して取り組むことにする。
- 病院・老健にてノロウイルス発生。
  - ・病院との出入り口の扉の前に次亜塩素酸ナトリウム液に浸した足拭きマットを設置。靴底についた菌の侵入を防ぐ。
  - ・出入りは必要最低限
  - ・ 病院へは予防衣を着て、出入り口で脱ぎ、袋に密封して持ち込み、消毒液に漬ける。

〈活動の成果と評価〉

- 委員会を立ち上げてこの2年間はインフルエンザ・ノロウイルスの罹患者が「無し」という大きな成果を上げられている。
- 同じキャンパスで、日常的に交流がある病院と老健で2年発症した環境を考えると委員会を中心となって施設全体で「手洗い・うがい」の徹底を利用者・職員・家族・ボランティアに呼びかけたこと。
- 対応マニュアルに添ったケア等ができた。

〈今後の課題〉

作成したマニュアルが紙切れにならないよう学習会等を通して新入職員にも伝達していきたい。